

第5回オンライン読書茶話会

東経大図書館企画

2020年12月26日（土曜日）

16：00－17：30 Zoom Meeting

進行役：高津秀之（西洋史） 米山高生（経営史）



東経大の学生は誰でも参加可能



1. 『読書のいずみ』を手にとったことがないと躊躇している人はいませんか？

図書館のコーナーで無料で手に入りますが、遠隔講義で大学にいていないという人も多いことでしょう。『読書のいずみ』は必携ではありませんので気軽に参加してください。

2. 参加するのに読書していることが必須だと思っている人はいませんか？

読后感想の担当は必須ではありません。参加しているうちに自分も担当してみたくなったら手を上げてください。見学だけの方も大歓迎です。



茶話会（さわかい）の進行

1. はじめに
2. 自己紹介（所属とお名前 1人15秒）
3. 『季刊読書のいずみ』から選んだ本の読后感想
4. 座談会企画：読書会－オンラインの可能性
5. 自由発言
6. 次回の予定

1. 読書茶話会の特徴（二つの軸）



- I. 『季刊読書のいずみ』（大学生協）に掲載されている書籍を
読んで語り合う場をオンラインで実現。
 - 担当者は読後感想を自分の言葉で簡単に語っていただければ結構です。
読書会やビブリオバトルとは違いますので**気軽に発言**してください。
 - 読んだ本について感想をお願いします。**とくに気の利いた結論がなく
ても大丈夫**です。
- II. ゲストを招待して、読書にかかわるインタビューと談話会。
 - 読書や書籍に関連するゲストを招待する企画です。
 - 気軽にゲスト講師をお招きできるのはオンラインならではのことで
しょう。

Zoom の決め事など



1. 話をする場合だけマイクをONにしてください。
2. 最初に参加者の自己紹介をお願いします。
3. 「顔出し」はとくに強制しませんが、長めの発言をされる場合には出していただくと嬉しいです。
4. 途中で用事がある方は退出自由です。チャットに書き込んでいただくと嬉しいです。
5. 発言がある人は、ミュートを外して自由に発言してください。ただし、たくさんの方が発言する場合には、発言を整理させていただきます。とくに学生の方の発言を大歓迎。
6. ご意見・ご感想についてお待ちしております。

連絡先：米山高生（よねやま・たかう） yone@tku.ac.jp

2. 参加者自己紹介



所属とお名前を
15秒程度でお願い
します。

3. 読後感想のコーナー

今回は、『季刊読書のいずみ』の最新号（No.164）の掲載書籍を対象とします。今回は、東経大の学生とわれわれ（高津、米山）が読後感想を行う予定です。

『季刊読書のいずみ』No164秋号は、生協書籍部および図書館にて配布します。『いずみ』のリンクは以下のとおりです。

<https://www.univcoop.or.jp/fresh/book/izumi/index.html>





東経大図書館にある「オンライン読書茶話会」のコーナー

「読書茶話会」のお知らせとともに、季刊『読書のいずみ』の最新号が置かれています。下段には、とりあげられた書籍が置かれていましたが、三冊とも嬉しいことに「貸出中」になっています。これをきっかけに『読書のいずみ』をとおした読書の広がり生まれるといいですね。

図書館HPでも紹介されています。

<https://www.tku.ac.jp/library/news/post-19.html>





読後感想の書籍

1. 村田沙耶香著「マウス」 講談社文庫（泉洋平）
2. 森絵都『カラフル』 文春文庫（米山高生）
3. 予定（内田充俊）
4. 予定（高津秀之）
5. Reni Eddo-Lodge, *Why I'm No Longer Talking to White People about Race*, Bloomsbury（米山高生）

周回遅れの読後感想

1. 『牧野富太郎、なぜ花は匂うのか』 平凡社
2. 武田砂鉄『わかりやすさの罪』 朝日新聞出版

4. 座談会企画：読書会の可能性



テーマ：読書会－オンラインの可能性－

「大学生になれば、本を読んできて集まり、それについて話をすることは、誰に強制されずともなく続いてきた文化であった。」 齋藤孝『読書力』岩波新書、172頁。

読書会が当たり前ではなくなった現在、COVID-19による手法としてのオンラインの普及は、読書会のありかたを変える可能性を秘めているのではないのでしょうか。

本日は、読書会を主宰したり参加したりしている方々に登場いただき、このテーマについて語っていただきたいと思います。

自由に発言してください。短い時間にあえて性急な結論を見つけるようなことはいたしません。

4. 座談会企画：読書会の可能性



ネリスト紹介（敬称略）

岩田恵美（名古屋大学学生）

オンラインで読書サークルを立ち上げています。『いずみ』pp.20-21を参照。

石井 愛（大学生協連職員）

複数の読書会に参加する、大学生協きっての読書家です。

相澤伸依（東京経済大学教員）

学内で読書会の経験豊富。フランス哲学・倫理学が専門。

早尾貴紀（東京経済大学教員）

学外も含めた読書会を企画する「達人」。オンラインの難しさも感じているとのこと。途中参加の予定。社会思想史が専門

5. 今後の予定



- 第6回読書茶話会は**2月20日（土）**の16時を予定。
- 次回も『季刊読書のいずみ』 No164秋号が対象。
『季刊読書のいずみ』は図書館のコーナーで入手可能。
- 読書茶話会については図書館のホームページをチェック。
<https://www.tku.ac.jp/library/news/post-19.html>
- 次回企画は「未定」。
- 第5回の感想を送っていただいた皆様に感謝。第6回読書茶話会の感想やコメントを米山まで送っていただければ嬉しいです。 米山高生 yone@tku.ac.jp

皆様の参加に感謝いたします。



企画者の妄想！

- ① 読書のオンラインをとおしたつながりの可能性を追求。
- ② 学生主体（読后感想）に教員が支援（企画物）するという態勢づくりが理想。
- ③ 「オンライン読書茶話会」モデルをつくり、全国の大学に拡大できるとさらに嬉しい。

今のところ定員はないので、友達をさそってぜひ参加してください。「数は力（かも）。」

ありがとう
ございます♡